

著作権に関する注意

本校の入試問題は著作権の対象となっており、著作権法で保護されています。
「私的使用のための複製」や「引用」など著作権法上認められた場合を除き、無断で複製・転用することはできません。

お断り

本校の入試問題中で引用した文章・文献等について、著作物保護の観点から一部掲載を控えた箇所があります。ご了承ください。

二〇一九（平成三十一）年度

東北学院高等学校入学試験問題

〈一般 B日程〉

国語

二〇一九（平成三十一）年二月六日（水）

九時～九時五〇分（五〇分間）

注意事項

- 一. 受験番号・氏名を解答用紙にはっきり記入すること。
- 二. 解答は、すべて解答用紙に記入すること。
- 三. 解答用紙だけを提出すること。

一

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(設問の都合上、一部本文を改めた箇所があります。)

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

(榎本博明『へ自分らしさ』って何だろう？ 自分と向き合う心理学』より)

問一 ～～～部A「お節介」、B「くせ者」の意味としてふさわしいものを次の中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

- | | | | |
|--------|---------|--------|----------|
| A「お節介」 | | B「くせ者」 | |
| ア | 適切な指摘 | ア | 関係のない者 |
| イ | ありがたい忠告 | イ | 油断のならない者 |
| ウ | 余計なお世話 | ウ | 問題のある者 |
| エ | 無駄な努力 | エ | 特徴のある者 |
| オ | 外的な手助け | オ | 自分の敵になる者 |

問二 ———部(1)「そんな意味」とはどういう意味ですか。本文中の言葉を用いて五十字以内で説明しなさい。なお、句読点や記号も一字とし、以下同様とします。

問三 本文中の **I**、**II** に当てはまる言葉を、それぞれ漢字二字で答えなさい。ただし **II** は本文中から採し、**I** は **II** の対義語を考えて書くこと。

問四 —— 部(2)「そういう他者との出会いが、自分に対する気づきを与えてくれ、自分の成長のきっかけになることもある」について、そのためにはどのような条件が必要となりますか。本文中の語句を用いて二十五字以内で説明しなさい。

問五 —— 部(3)「自己とは他者である」について、この言葉を本文中では二通りの意味で使っています。その意味をそれぞれ答えなさい。

問六 —— 部(4)「そうした自己イメージは、どのようにしてつくられたのか」について、その過程を説明した部分を本文中から十五字以内で抜き出して答えなさい。

問七 本文の内容の説明としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 前半では海外の事例から自己と他者の関係について説明し、後半ではより一般化して特に自己について説明している。
- イ 前半では具体的事例を中心に自己と他者の関係を説明し、後半ではそれを一般化してその関係を図式的に説明している。
- ウ 前半では自己と他者の関係のうち他者に焦点を当てて説明し、後半では逆に自己イメージの様子を中心に説明している。
- エ 前半では比喩を用いて自己と他者の関係を説明し、後半ではその中でも自己イメージへの他者の関わり方を説明している。
- オ 前半では社会学者クローリーの考えを説明し、後半ではそれとは異なる自己を中心とした他者との関係を説明している。

問八 —— 部①②の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

(片川優子『わたしがここにいる理由』より)

問一 部㉔㉕のカタカナを漢字に直しなさい。

問二 部(1)「サッカーバカ」について、これはどのような意味か説明しなさい。

問三 部(2)「一輝は答ええない」について、その理由としてふさわしくないものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 璃湖の質問の意味がよくわからなかったから。
- イ 余計なことを言う璃湖にいらだっていたから。
- ウ 璃湖に凶星をさされて返す言葉がなかったから。
- エ 一番言われたくないことを璃湖に言われたから。
- オ 璃湖には何もわかるわけがないと思ったから。

問四 部(3)「まっすぐに」、(4)「まっすぐで」から読み取れる璃湖の気持ちを三十字以内で説明しなさい。

問五 —— 部(5)「璃湖は何かを期待したような顔をして」について、ここで期待している内容を次のように説明しました。に当てはまる語句を、本文中から二十字以内で抜き出して答えなさい。

『王様の耳はロバの耳』という印象的な言葉を投げかけることで、を思い出すことを期待した。

問六 —— 部(6)「あの中毒性の高い興奮」について、これと同じ感覚を表す語句を、本文中から二十字以内で抜き出して答えなさい。

問七 本文中の I、 II に当てはまる語句を、それぞれ二字で考えて答えなさい。

問八 本文の説明としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 幼少期からのサッカーとの関わりを思い出す場面は、一輝が父親という存在を再認識するきっかけとなっている。
- イ 「ふらふら」「うずうず」などの表現を使用することで、中学生が大人になる過程で見せる幼さを表現している。
- ウ 「ダサイ」などの話し言葉を使うことで、大人が容易に入り込めない中学生の人間関係の複雑さを表現している。
- エ 前半部分で璃湖の視点から物語が始まり、話の進行に伴い一輝の視点へ移っていくという視点の移動が見られる。
- オ 「ホイッスル」や「子どもの声」などの音の描写が、主人公の視線や思考が現実にもどるきっかけとなっている。

三

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作物保護のため掲載を控えます

〔徒然草〕より

著作物保護のため掲載を控えます

問一 〰〰〰部A「心づかひ」、B「をかし」を現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで書きなさい。

問二 〰〰〰部㉔「心地」、㉕「文」の意味を答えなさい。

問三 〰〰〰部(1)「いと目慣れぬ事のみぞおほかる」を現代語に直しなさい。

問四 〰〰〰部(2)「さやうの所」とは、どのような場所を指していますか。古文の中から二つ抜き出して答えなさい。

